

		横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録			
日 時	令和3年 11月10日(水)				
部会名	研究部 器楽部会		主任	加藤 紫乃	
参加数	8名	司会	加藤 紫乃	記録	上石 千鶴
研究内容	研究部テーマ 音楽的な見方・考え方を働かせ、思いや意図をもって、協働的に学ぶ子どもの姿を目指して 器楽部会テーマ 楽曲の特徴や楽曲に合った音、音色をみつけ、音や音によるコミュニケーションを通して、自分の考えを広げ、豊かな表現を目指す器楽活動				
	◎ 12月授業研究会指導案検討				
	授業者：横浜市立谷本小学校 南澤 香里 先生 教材：「ルパン三世のテーマ」 大野 雄二作曲・柊 ゆきえ編曲 〈第3回指導案検討〉				
	○前時までの様子（動画）				
	曲との出会い。フルスコアの提示。→曲の仕組みを学習するため。 ・ 8日（月）の様子（動画）第1回目の録音から C: ずれていた。音の大きさのバランスがよくない感じがした。聴こえない楽器があった。 T: 目立つ楽器ばかり聴こえていたけれど、それでよいのかな。 ・ スコアでパート同士の関係を確かめる。 T: 2回目の演奏で気を付けたことは何でしょう。 C: 音の大きさに気をつけた。合わせた。ずれないようにした。				
	・ 10日（水）の様子（動画）イントロからアに入るところまで				
	○討議				
	・ スコアの提示の仕方がよかったです。子どもの思考に合わせた提示だった。 ・ タイミングがずれているのは、誰に合わせていて、どのようにずれると言っていたのか。 ・ 子どもがどのように演奏したいと思っているか。 ・ 同じ動きの楽器を近くになるように配置している。円形に配置。指導者は中心と考えている。 →配置の工夫が必要				
	○後藤先生より				
	・ それぞれのパートがどの役割をしているのか。 →楽譜から読み取ることを、これまでの学習を生かしながら、演奏の仕方を考えていく。 拍の流れをつくっているパートはどこなのか。拍を共有することが大切。 曲の決め所では、拍がそろっている。 ・ 曲との出会いで、全パートを経験させたい。旋律を口ずさむことでもよい。 「この曲はどんな曲で、どのように合わせればよいのか。」ということを考えやすい。 ・ 何のために聞き合うのか。目的によって違う。 ・ イからウへ変わる部分。曲想が変わる部分のどこを聴いてどのように演奏すればよいか。 それを楽譜や曲から読み解いていく。 ・ イの部分もずっと同じ演奏でもいいかな。→変化した部分に気付かせる。アに戻るための準備。 ・ 「合った」「そろった」実感をもたせたい。速度を遅めにして、「合った」体感をさせる。 ・ 音楽専用のICレコーダーを使う方法もある。自分で聴こえない音を確かめるために使用できる。 ・ 子どもの発言や演奏から、学びをつなげていくことが大切。				

